

水稻新品種 ‘ミコトモチ’ の育成

田中互・播磨邦夫・月森弘・安達康弘・杉山万里・高橋眞二・吾郷宏光・富田節雄・加納正浩・山本朗・松崎友史・福田誠・藤原耕治・安原宏宣・陶山研治・神田正治・重栖睦弘・広沢敬之

摘要

水稻糯新品種 ‘ミコトモチ’ は 2008 年に島根県農業技術センターで育成された。

1. ‘ミコトモチ’ は 1987 年に ‘山陰糯 83 号’ を母本, ‘中部糯 57 号’ を父本として交配し, その後代から育成した糯種である。1998 年に ‘島系糯 54 号’ の地方番号名を付し, 奨励品種決定試験において ‘ヤシロモチ’ と比較検討し, 2008 年に島根県の奨励品種に採用された。

2. 本品種の熟期は早生の晩に属し, 草型は中間型である。‘ヤシロモチ’ と比較して倒伏抵抗性, 穂発芽性, 玄米外観品質, 白米の白度及び餅の白度が優る。

3. 本品種は標高 300m 以下の地力中庸地における早植えに適応する。